

# 令和4年度 事業継続力強化支援事業の評価

※評価の目安 A：達成することができた。(100%)  
B：概ね達成することができた。(80%～99%)  
C：半分程度しか達成することができなかった。(30%～79%)  
D：ほとんど達成できなかった。(30%未満)

## <1. 事前の対策> 評価 ( C )

### ①小規模事業者に対する災害リスクの周知

- ・巡回時にヒアリングを実施し、事業所の問題について確認を行っている。保険会社や全国商工会連合会等から提供される対策については、定期的に行う発送文書に同封を行い周知している。
- ・商工会報等には防災に関する国の施策等は掲載していないため、令和5年度に発行する商工会報にて掲載を行う。
- ・事業継続力強化支援に関する専門家は、令和4年度は招聘していない。商工会予算に限りがあるため、実施時期等については事業所内にて検討を行う。

#### 【災害リスクの周知に関する目標】

項目	R4 年度目標	R4 年度実績
事業者 BCP 策定件数	1	0
専門家派遣件数	1	0
セミナー等開催回数	1	0

### ②商工会自身の事業継続計画の作成

- ・令和3年度に策定した事業継続計画をもとに、事業を実施している。

### ③関係団体等との連携

- ・地区内小規模事業者を対象とした普及啓発セミナーを実施していないが、損害保険の紹介については巡回や窓口にて適宜紹介を行っている。

### ④フォローアップ及び事業の評価

- ・小規模事業者の事業者 BCP 策定取組状況についての確認を令和4年度は行っていないため、令和5年度以降に確認を行う。
- ・令和3年度に計画が認定され令和4年度から事業継続力強化支援事業を行っている。令和4年度に初めて事業を行ったためまだ事業継続力強化支援協議会は開催していない。
- ・今回開催した協議会にて実施状況及び評価・検証を行う。評価結果については、10月に開催される役員会にてフィードバックを行い、HP や会報へ掲載を

行う。

【事業者 BCP 等の取組状況の確認について】

項 目	R4 年度目標	R4 年度実績
事業者 BCP 等の取組状況の フォローアップ目標件数	1 件	0 件

⑤当該計画に係る訓練の実施

- ・令和 4 年度は、連絡ルートの確認等は行っておらず、訓練についても実施できていない。

< 2. 発災後の対策 > 評価 ( B )

①応急対策の実施可否の確認

- ・商工会職員でグループ LINE を作成し、台風が通過した際や何か災害があった際には安否確認を行っている。令和 4 年度は、台風が通過した際に安否確認を行った。

②応急対策の方針決定

- ・令和 4 年度は、台風が通過際に情報共有を行ったが、被害については確認できなかったため、応急対策の方針決定は行っていない。

< 3. 発災時における指示命令系統・連絡体制 > 評価 ( A )

- ・台風が通過した際、町の商工交通課と連携をとり被害状況の共有を図っている。被害があった場合は、町と共有した被害状況を鹿児島県が指定した様式にて鹿児島県商工会連合会を通じて報告を行う体制を整えている。

< 4. 応急対策時の地区内小規模事業者に対する支援 > 評価 ( D )

- ・小規模事業者に被害がなかったため相談窓口は設置しておらず、地区内小規模事業者等への周知等も実施していない。

< 5. 地区内小規模事業者に対する復興支援 > 評価 ( D )

- ・小規模事業者に被害がなかったため、支援を行う必要性がなかった。